

OS BENEFÍCIOS DO TRATAMENTO DE ACUPUNTURA PARA GOTA.

鍼灸の魔術師

(24)

ペンギン・文・育

通風 (GOTTA) (1)



痛風は簡単にいえる一種である尿酸が何らかの理由でうまく処理

できないようになって関節部にたまり、そこに炎症が起る病気だ。

尿酸という物質が、血液中に異常に多くなつた状態で高尿酸血症という。尿酸とはからだの細胞の新陳代謝によつてできた老廃物で、体内で毎日ほぼ一定量生成され、尿中に排泄されている。この尿酸の生成と排泄のバランスがなんらかの原因でくずれると、血液中に尿酸がふえ、高尿酸血症になつてしまう。

この高尿酸血症の状態がつづき、治療しないでおくと、血液中の尿酸は溶けきれず結晶となつて関節に沈着し、痛風関節炎をおこす。この病気は、足のおや指の付け根の関節から始まり、壮年期の男性に圧倒的に多くみられる。

一、「無症状性高尿酸血症期」は痛風の準備段階ともいえる時期で、血液中の尿酸値は上昇している。この時期はまったく無症状だ。症状が進んでくると第二段階、「急性発作期」に入る。典型的な痛風の時期だ。あらゆる痛みの中で最強といわれる発作が起きる。

この時期になるとたいてい腎臓に障害が起こつてくる。したがつて、継続的な治療が必要になる。

もつと症状が進んでくると第三段階「慢性結節性痛風期」に入る。急性発作を繰り返し起こしても、痛みに対する治療のみで、高尿酸血症の治療を受けないで放置しておくと、常に発作が起こつている状態になる。

これは、体内にたまつた尿酸が、関節の中で常に炎症を起こし続けている状態で、たえず痛み。さらに、尿酸が関節の中だけでなく、からだの中のあるところに沈着し、塊(かたまり)を作るようになる。これを痛風結節とよぶ。

慢性結節性痛風期を迎えてしまうと、命にかかわるような合併症を起こす可能性も高くなるので注意が必要だ。

通風で苦しむ患者達のほとんどは血中の総コレステロール値が高く、高脂血症、高血圧、糖尿病、動脈硬化、心臓発作などを起こしやすいため、早く医者にかかるなければならない。